

ふしん

春日市地域活動指導員だより NO.90

平成24年9月15日

春日市教育委員会 社会教育課

TEL575-4121 fax593-7380

e-mail syakai@city.kasuga.fukuoka.jp

キミも未来のロボット博士!?



炊飯器からビヨヨ〜ン
が出てきたね!



テレビの中って、どうな
ってるのかなあ?



キーボードの下には
何が隠れているんだろう?

ぶどうの庭・須玖北アンビシャス広場 物壊し大会

パソコン、テレビ、ステレオ、ビデオデッキ、炊飯器、ドライヤー、扇風機など、使えなくなった電気製品を分解していく「物壊し大会」を行いました。この活動は、「ぶどうの庭・須玖北アンビシャス広場」が年間を通して行っている、「物作り体験」シリーズの一つです。

大人気のこの活動では、前もって使えなくなった電気製品を集めておいて、くじ引きで決まったそれぞれの電気製品をドライバーなどの工具を使って分解していきます。

どんな仕組みになっているのか、中からどんな部品が現れるのか、子ども達はもちろん、付き添っている大人もスタッフも夢中で壊していきます。みんなすごい集中力です!

いつもは壊さないように、大切に使っている物ですが、壊してみることから、見えてくるもの、気付くこともたくさん見つかったようです。

アンビシャス広場や子ども会など、社会教育に関する情報は、春日市ホームページ内「教育・文化」⇒「学ぶ・楽しむ」からご覧いただけます。

春日原アンビシャス広場 シャボン玉とコロコロ



春日原小のゆめホールで、薬のカプセルを使った、楽しい動きのコロコロを作りました。この小さな生き物のようなコロコロ。簡単なからくりですが、とても楽しい動きで坂を下っていきます。

その後、運動場に出て、大型シャボン玉を作りました。針金ハンガーだけではなく、紙を外して骨だけにしたうちわをシャボン玉液に浸して大きく振ると、たくさんのシャボン玉が一気に青空に向かって飛んでいきました。

指導者の金子さんは、「雨が降った時のために、コロコロを準備していたけど、子ども達が夢中になって遊んでくれてよかった。」とおっしゃっていました。

天神山アンビシャス広場 七夕で世代間交流

毎年、天神山公民館で行われる七夕の行事は、世代を超えたたくさんの人たちでいっぱいです。自治会長さんの「どうして竹に短冊を飾るのかな？」という質問に、男の子が「竹のようにまっすぐにすくすくと伸びるように！」と答えていました。6年生の女の子達がエプロンシアターを見せてくれた後に、地域のおばあちゃん・おじいちゃんと一緒に折り紙で笹飾りを作りました。みんなの願いが叶いますように☆



きらい春日の人

いちき むつこ
市来 睦子さん



手作り絵本など、他地区の子育てサロンにも貸し出しをしています。詳しくは、天神山公民館（572-7323）までお問合せください。

天神山にお住まいの市来さんは、自治会の福祉部長として、また、市の主任児童委員として、地域の子ども達、子どもを持つ家庭が幸せに、安全に暮らせるように、長年活動を続けてこられました。

これらの活動を通して、「やはり子育ての基本は家庭。赤ちゃんの内からたっぷりと愛情を与えて、豊かな想像力を持つ子どもに育ててほしい。」とおっしゃっています。

天神山の子育てサロン「天てん広場」の中で、昨年度から始まった、「だっこ de ブック」の事業では、読み聞かせのための絵本や大型絵本のほか、福祉部の皆さんと一緒に柔らかい肌触りの愛情のこもった布絵本やエプロンシアターを手作りして、子ども達や若いお母さん達に提供してくださっています。

すぐっ子アンビシャス広場 箸りんぴっく

すぐっ子アンビシャスでは、国際箸学会の中村和夫さんが、「お箸を通じて世界中の人と共に喜ぶ」をモットーに楽しみながら箸の文化やお作法を学んでいく活動を進めていらっしゃいます。

写真は、1分間に50個の殻付きピーナッツを箱から箱へ移動させる箸りんぴっくです。右手でできたら左手も挑戦！このゲームには、スピード、並べ、盛り付けの3種目があります。

集中力を養いながら、お箸の持ち方や使い方を身に付けていきます。



おとなも子どもも真剣です！

上白水アンビシャス広場 クラフトでかご作り



上白水アンビシャス広場では、長さの違うエコクラフト(牛乳パックなどの再生紙で作った紙バンド)を使って、可愛い小物入れを作りました。

まず、土台を作って、縦と横のクラフトを編みながら、だんだん形になっていきます。綺麗に編み上げるには、ぎゅっぎゅっとしっかり編んでいくのがコツです。

最後の仕上げに、持ち手とリボンを付けて出来上がり♪



みんなで遊ぶのって
楽しいね~(´ ˘ ˘) /

春子連 校區別研修会

市子ども会育成会連絡協議会では、毎年、各地区の子ども会育成会が中心となって、校区ごとに設定したテーマで研修会を行っています。

春日南小校区と春日北小・日の出小校区合同の研修会では、自治会の役員さんや小中学校の先生方も参加して、地域の子供達をどのように育てていくか、学校や地域、育成団体がどのように関わっていくかについて、現状と問題点とその解決策について熱心に話し合われました。

その中で、「小学校では、子供達が地域にお世話になるので、中学生にとって地域は、お返しをしていく場として考えています。中学生にお手伝いできることがあれば、中学校に相談してください。」という春日南中学校からの心強い言葉が印象的でした。



春日小・須玖小
校區別研修会の様子

あそび名人の会 ふれあい体験王国

8/5(日)、ふれあい文化センターで「あそび名人の会」による「ふれあい体験王国」が開催されました。

パスポートを購入して入国すると、紙飛行機、バルーンアート、竹細工、折り紙、お楽しみおもちゃ、ダーツなどいろんな物作りや遊びを体験できます。どのコーナーも一日中子ども達でいっぱいです。



バルーン
アート

参加者は、「あそび名人さんが優しく丁寧に教えてくださるので、親子で楽しみながらいろんな体験ができました。次回も、楽しみにしています☆」とっていました。



ダーツに
挑戦！



折り紙
名人



大土居公民館で竹笛作り

あそび名人さんたちは、会での活動の他、市内のあちこちのアンビシャス広場でも大活躍！

子ども達と一緒に遊んで思いっきり遊ぶことが若さの秘訣だそうです。



松ヶ丘公民館で
こま回し

情報 コーナー

春日市は、古代から住みやすい土地であったと推察され、弥生銀座と呼ばれる遺跡群や白水大池などの自然、地域特有の伝統行事や偉人等が数多く存在します。これらを題材にして、自分たちのまちを見つめ直し、もっと詳しく知ってもらふこと、郷土への愛着心を育てることを目的に、平成3年に市民から公募した読み札による「郷土かるた」が作成されました。

かるたの裏面には、それぞれの題材についての説明も記載されています。

社会教育課では、郷土かるたとA0版のジャンボかるたの貸し出しを行っています。

地域の子どもの活動や世代間交流の活動にご利用ください。

春日市 郷土かるた

貸し出します！

